

アウトドアでの夏の親子の肌対策事情

パラドゥでは、日やけ止めジェル「パラドゥ バズ[®] ガードUV」のリニューアル発売に向けて、子どもをもつ30・40代の女性を対象に“アウトドアでの夏の親子の肌対策”に関する調査を実施しました。

子どもの年齢が低いほどママの肌対策意識は高まっているものの、現状に満足できていない様子がうかがえました。

調査概要

方法:インターネット調査 時期:2016年1月

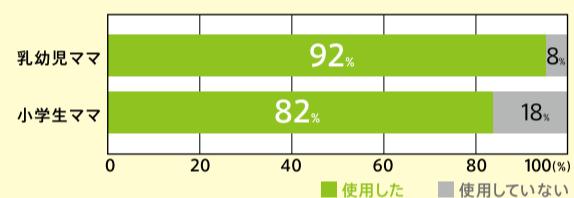
対象:乳幼児(0~6歳)もしくは小学生(7~12歳)の末子をもつ30・40代女性248名(各世代共に乳幼児もち62名／小学生もち62名)

調査結果

1. 日やけ止めの使用率は、小学生よりも乳幼児の方が高い

「子どもに日やけ止めを使用しているか」をたずねたところ、乳幼児の92%が日やけ止めを使用しており、小学生に比べ10%高いという結果に。小学生に比べて乳幼児の肌がデリケートであることに加え、保育施設などで使用を推奨する傾向も見られることから、ママの使用意識が高まっていると推測されます。

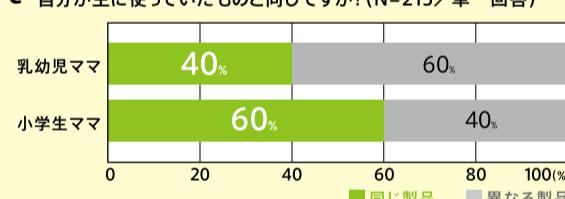
Q 昨年の夏、現在同居している子供のからだに日やけ止めを使いましたか? (N=248／単一回答)



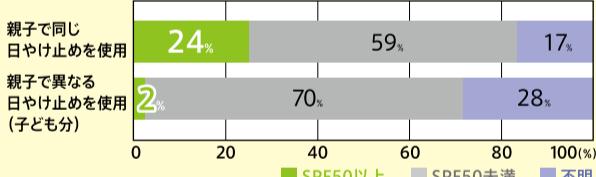
2. 親子での日やけ止めのシェア状況は、小学生よりも乳幼児の方が低い 乳幼児親子は、「子ども用の紫外線防止効果の低さ」に不満

「子どもと同じ日やけ止めを使用したか」をたずねたところ、小学生親子の60%が共用していたのに対し、乳幼児親子は40%にとどまる結果となりました。また、乳幼児親子の「SPF50以上」の使用割合は、日やけ止めをシェアした親子(24%)よりも別々の日やけ止めを使った親子(2%)の方が22%も低く、「子ども用だとSPF値が低すぎる」など紫外線防止効果の低さに対する不満が見られます。

Q 昨年の夏、現在同居している子どものからだに使った日やけ止めは、自分が主に使っていたものと同じですか? (N=215／単一回答)



Q 昨年の夏に使った日やけ止めのSPF値をお教えください (N=110／単一回答)



3. 日やけと虫さされの両方を防ぎたいママは90%も!

「肌負担なく、日やけと虫さされの両方を防ぎたいか」をたずねたところ、乳幼児と小学生ママの90%が、「そう思う」と回答。親子のアウトドアでの肌対策として、日やけだけでなく虫さされ防止へのニーズも高いという結果に。じっとしていることが難しい年齢の子どもをもつママたちは、手軽にケア済ませたいと考えている様子がうかがえます。

Q あなたは「肌負担なく、虫さされと日やけの両方を防止したい」とどの程度思いますか? (N=248／単一回答)

- 非常にそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない

